

# 漢方

のことお聞きしました

病院の治療と  
漢方は  
併用できますか？



1 カウンセリングは予約制。店舗によってカウンセリングの曜日が異なるので、HPで確認を 2 生薬の調合もしますが、飲みやすい粉や液体タイプ、丸薬を中心に処方しています 3 JR吉祥寺駅南口から井の頭通りに沿って新宿方面に歩くと、東西薬局が見えてきます



子宝を願うカップルを強力サポート  
不妊専門の有名クリニックからの紹介で  
多くの患者さんが通っています

吉祥寺東西薬局(東京都武蔵野市)

妊娠中の女性には、「体外受精にステップアップしたけれど、よい卵子が採れない」、「胚移植してもうまく着床しない」などの悩みが少なくありません。

JR中央線吉祥寺駅からほど近い東西薬局には、クリニックからの紹介でこうした悩みを持つ人が訪れるといいます。

「都内や多摩、神奈川県の不妊専門クリニックと連携しており、毎月数十人が紹介でこちらに見えます。35才〜40代前半の女性が多いですが、男性不妊でお悩みの方も1/3程度いらっしゃいますね」と猪越先生。

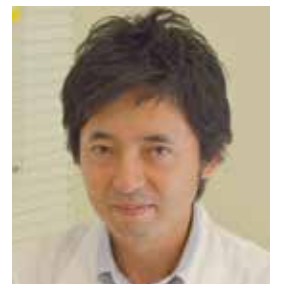
治療は、ホルモンの分泌や生殖能力と関わりのある腎臓の働きを補う「補腎」で卵巣機能の回復を、血液を増やす「補血」と卵巣や子宮への血流をスムーズにする「活血」で子宮内膜の質をそれぞれ改善していきます。「補腎」には精子の数を増やしたり、精子の運動をよくする効果もあり、男性不

妊の場合にも処方しています。

「漢方では、体の弱っているところに栄養を与えて、健康な状態に戻すという考え方が基本です。よい卵子が採れるようになり、子宮内膜がやわらかくふかふかの状態になるなど、妊娠しやすい体づくりの準備が整うには、3カ月ぐらいが目安になります。患者さん自身は冷えが改善したり、肌や髪が潤っておりものが増えるなど、体の変化として実感できると思います」

2〜3カ月ぐらい治療を続けると、基礎体温が安定してくる人も多いそうです。患者さんからは「手足が冷えないので、冬が過ごしやすくなった」、「生理痛が軽くなった」、「生理前のイライラがなくなった」などの声も聞かれる、と猪越先生は話します。

「漢方を始めると、クリニックでの治療をお休みしなくてはいいけませんか?」と、よく聞かれますが、患者さんの中にはお休みされている方も、クリニックとこ



代表  
猪越 英明

医学博士、薬剤師、鍼灸師、東京薬科大学准教授、国際中医専門員。おだやかな口調で的確なアドバイスをしてくれる先生として、不妊に悩むかたの信頼を得ています。

東西薬局 <http://www.tozai-yakkyoku.com/>

## ■吉祥寺東西薬局

住 東京都武蔵野市吉祥寺南町  
2-6-7 ☎ 0422-47-9646  
休 日曜・祝日 時 9:30~19:00  
交 JR中央線「吉祥寺駅」より徒歩3分

## ■調布東西薬局

住 東京都調布市布田4-2-42  
☎ 042-483-3963  
休 日曜・祝日  
時 9:30~19:00  
交 京王線「調布駅」より徒歩3分

## ■八王子東西薬局

住 東京都八王子市東町1-6  
橋完LKビル7階 ☎ 042-656-4189 時 9:30~19:00  
休 日曜・祝日 交 JR中央線「八王子駅」より徒歩5分

## ■中医アロマスクール

住 東京都武蔵野市吉祥寺南町  
2-6-7 吉祥寺東西薬局2階  
☎ 0422-47-9646 時 9:30~19:00 休 日曜・祝日 交 JR中央線「吉祥寺駅」より徒歩3分

らに同時に通われている方もいらっしゃると思います。体調などを考えて無理のないよう、決めていただきます」

東西薬局では不妊治療のストレスを和らげるためのアロマトリートメントを行っているほか、アロマ講座も設けています。アロマの香り漂う店内でリラックスしながら相談できるのも魅力の一つです。